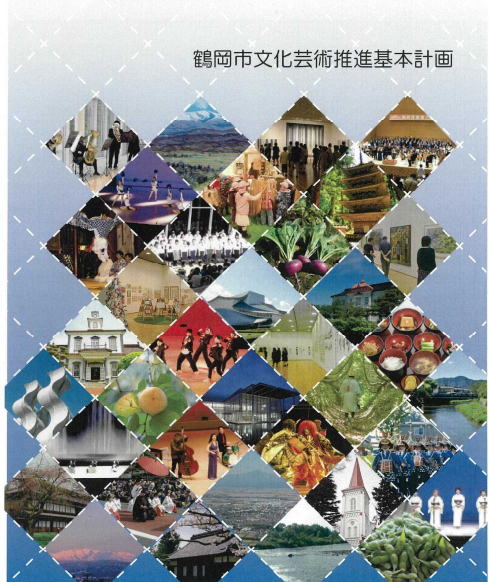


文化芸術推進計画 意見公募

アンケートで「施設利用で不便多い」3割近く



・上野由部氏⇨黒川能の里王祇会館館長、委員11人）は、令和元年度と2年度に計7回の委員会を開催し、地域芸術団体等での意見交換会、アンケート実施をし、計画案を取りまとめました。

朝日64人と、差があること、
「施設利用で不便なことが多い」との設問に「そう思う、ある程度思う」が一定程度（約27%）いること、
演劇鑑賞会の関係者から、中央公民館での公演の際に、閉館時間の制約があり利用改善の要望があることなどを述べ、解消を求めました。



し、意見提出方法は郵送、ファックス、電子メールで提出としていきます。

文化財や、文化資源、歴史的資料の保存、市民の芸術文化活動の体制整備、祭礼や伝統行事、文化芸術活動と観光連携など、多様な計画案となっています。関係者のみなさんの声を伝える良い機会です。

公演・展示参加者アンケートで「施設利用で不便」約27%

計画案は市HPや市役所・荘銀タクト等で閲覧可

出席した菅井巖議員は、公演や展示参加者へのアンケートのまとめでは、男女比率が男565人にに対し女1253人、地域差は鶴岡1091人に対し、旧町村は藤島139人

市教育委員会では市文化芸術推進基本計画案について、市のホームページや、市社会教育課、荘銀タクト、鶴岡アートフォーラム、各地域庁舎総務企画課に配置し、閲覧可能と



菅井 巖議員

鶴岡市教育委員会社会教育課では、本市の文化芸術政策の指針となる「鶴岡市文化芸術推進基本計画」（令和3年度～7年度）の素案をまとめ、意見公募（パブリックコメント）を行っています。募集期間は、5月17日から6月4日までです。

ず、観光や教育、福祉、まちづくりなどの関係施策を含めた総合的な展開や、計画的な推進の方向性が示されたこと、さらに、市に関係の深い項目として、生活文化に「食文化」が追加されたことが計画策定の根拠となりました。

「文化芸術推進基本計画」策定が自治体の努力義務に

策定委が意見交換会・アンケート実施し計画案取りまとめ

13日の鶴岡市議会市民文教常任委員会協議会では、担当課から策定についての経過説明がありました。

計画は、「つるおおか文化部ミーティング」と題して実施したグループトークやアンケート、各種データで現状や課題をまとめ、担当課と関係課で素案を作成しています。

国の「文化芸術推進基本法」が平成29年に大幅に改正され、「文化芸術推進基本計画」の策定が地方自治体の努力義務となったこと、

この素案を関係団体の代表の方から意見を聴く「策定委員会」を開催し、内容をまとめています。

法改正では、文化芸術の振興にとどまら

策定委員会（委員長

デジタル庁でデジタル文化を推進する

共産党県委主催 地方議員オンライン研修会

共産党県委員会主催の地方議員研修会が17日、オンラインで開催され、鶴岡市議団5人も参加し、地方自治体の「デジタル化」問題について学びました。

を強引に進めようとしています。9月に発足するデジタル庁は、司令塔として強力な権限が与えられます。

国とデジタル関連企業による自治体支配のおそれ

「デジタル庁」9月発足

総務省は2021年から26年まで、DX（デジタルトランスフォーメーション）計画を実施し、デジタル技術を活用して自治体と住民生活のあらゆる面に浸透させる考えです。

問題点は、国とデジタル関連民間企業による自治体支配のおそれがあることです。標準化が押し付けられ、医療費の無料化など、住民の要求にもとづく上乗せの障害となり、自治体独自のサービスが困難になります。（2面につづく）

「デジタル化関連法案」が5月12日、参院で可決成立し、政府・財界は「デジタル化」

段差・ポール折れ…道路の危険解消

日本共産党市議団、住民要望実現に尽力

この間、共産党市議団に寄せられた住民要望を紹介します。

地震後にできた道路の段差が解消

青柳町では地震後から道路に段差ができ、子どもが自転車で転んだりしていると、坂本昌栄議員に声が寄せられました。

直ちに現場を確認し、写真を撮って市当局を訪れ、早々に対応し、段差が解消されました。



修復前→
修復後←

県道のポールが倒れ危険↓ポール増設

上郷住民から、矢引・中山間の「県道のポールが倒れ、下り坂の運転がおっかない」との声が寄せられ、共産党の佐藤安太郎支部長と坂本昌栄議員との連名で市当局に要望書を提出しました。



市当局は直ちに県へ要望し、倒れたポールを直し、新たに6本増設し、安心して下り坂を通れるようになりました。



坂本昌栄議員

一時停止の白線消えた↓「点線は可能」回答引き出す

宝田一丁目住宅地内では、一時停止の白線が経年劣化により消えていることについて、山田守議員に相談がありました。



市役所に問い合わせたところ、「当時、住宅地を開発した民間会社が、県公安委員会の許可を得て任意の白線を引いたもので、交通違反の取り締まりや規制に関わる一時停止の白線については、改めて県公安委員会による判断が必要」とのことです。鶴岡市としては、「住

（1面のつづき）

オンライン申請で、窓口業務の無人化や廃止などが進み、住民の人権を守る機能が失われます。

膨大な個人情報ビッグデータを使った、財界、大企業の新たなビジネス展開により、住民の個人情報保護が脅かされます。

「スーパーシティ構想」では、全国100カ所の地域、自治体が「スーパーシティ」に指定されます。

住民個人の商品購入履歴や医療、金融、行政情報など、生活全般にまたがる膨大な個人情報データの、国や自治体からの委託を受けて事業主体となる民間企業が収集し、営利

宅地内で優先する道路が明確であれば、対応する優先順位はあるものの、ドットライン（点線）を引くことは可能」との説明があり、町内会役員にこの内容を伝

目的に活用できるようになります。

自治体デジタル化にどう臨むか

「自治体のデジタル化」にどう臨むか。第1に、デジタル技術を、「住民福祉の増進」と自治体職員の良い仕事に活用させる。

第2に、国に対して、自治体独自の住民サービスを確保する。

第3に、個人情報の権利を守り、プロファイリングは許さない。第4に、住民に情報を公開し、住民の合意で決める。

第5に、システムを自治体職員自らチェックすることです。

えました。



山田 守議員

建築課入札結果（ ）内は予定価格

5月13日入札分

- ・由良海水浴場公衆便所 漁業集落排水接続工事（由良二丁目14-16）（入札8業者）
- （有）トータル設備 3,600,000円（3,630,000円）工期～7/30（落札率99.17%）
- ・市先端研究産業支援センター埋設ケーブル等移設工事（覚岸寺字水上246-2）（入札15業者）
- 配工電気（株） 6,400,000円（6,700,000円）工期～7/20（落札率95.52%）
- ・小真木原総合体育館空調設備改修工事（小真木原町2-1）（入札8業者うち1業者辞退）
- 荘和設備工業（株） 42,850,000円（43,730,000円）工期～12/7（落札率97.99%）

土木課入札結果（ ）内は予定価格

5月13日入札分

- ・上田沢八久和線表層改良工事（荒沢地内）（入札8業者うち2業者辞退）
- （株）伊藤組 4,200,000円（4,416,000円）工期～7/30（落札率95.11%）
- ・市道大泉橋一日市町線構造物撤去工事（繰越明許）
- 中止

廃棄物対策課入札結果（ ）内は予定価格

5月13日入札分

- ・岡山環境パーク閉鎖工事に伴う測量業務（岡山地内）（入札12業者）
- （有）佐藤測量設計事務所 2,260,000円（2,729,000円）期間～8/17（落札率82.81%）

教育委員会管理課入札結果（ ）内は予定価格

5月13日入札分

- ・市立鶴岡第一中学校放送設備更新工事
- 中止
- ・市立黄金小学校下水道設備切替工事（青龍寺字北内48番地）（入札8業者うち4業者辞退）
- （有）山東設備 9,800,000円（10,140,000円）工期～9/10（落札率96.65%）
- ・市立西郷小学校下水道設備切替工事（下川字樋渡100番地）（入札8業者うち4業者辞退）
- 日栄産業（有） 17,050,000円（17,580,000円）工期～9/17（落札率96.99%）

雨水事務室入札結果（ ）内は予定価格

5月11日入札分

- ・市公共下水道事業雨水茅原第1幹線新設工事に伴う門扉・フェンス設計業務（宝田三丁目地内）（入札13業者うち1業者辞退）
- ブレンスタッフ（株） 1,450,000円（1,459,000円）期間～8/31（落札率99.38%）

下水道課入札結果（ ）内は予定価格

5月17日入札分

- ・市集落排水事業 上郷第1真空ステーションNo.1真空ポンプ更新工事（中沢地内）（入札7業者うち6業者辞退）
- 庄内環境衛生事業（株） 5,300,000円（5,811,000円）工期～11/30（落札率91.21%）

水道課入札結果（ ）内は予定価格

5月11日入札分

- ・漏水修理等に伴う路面復旧工事（市全域地内）（入札4業者うち1業者欠席）
- （株）東北ペーパー 4,470,000円（4,488,000円）工期～8/31（落札率99.60%）